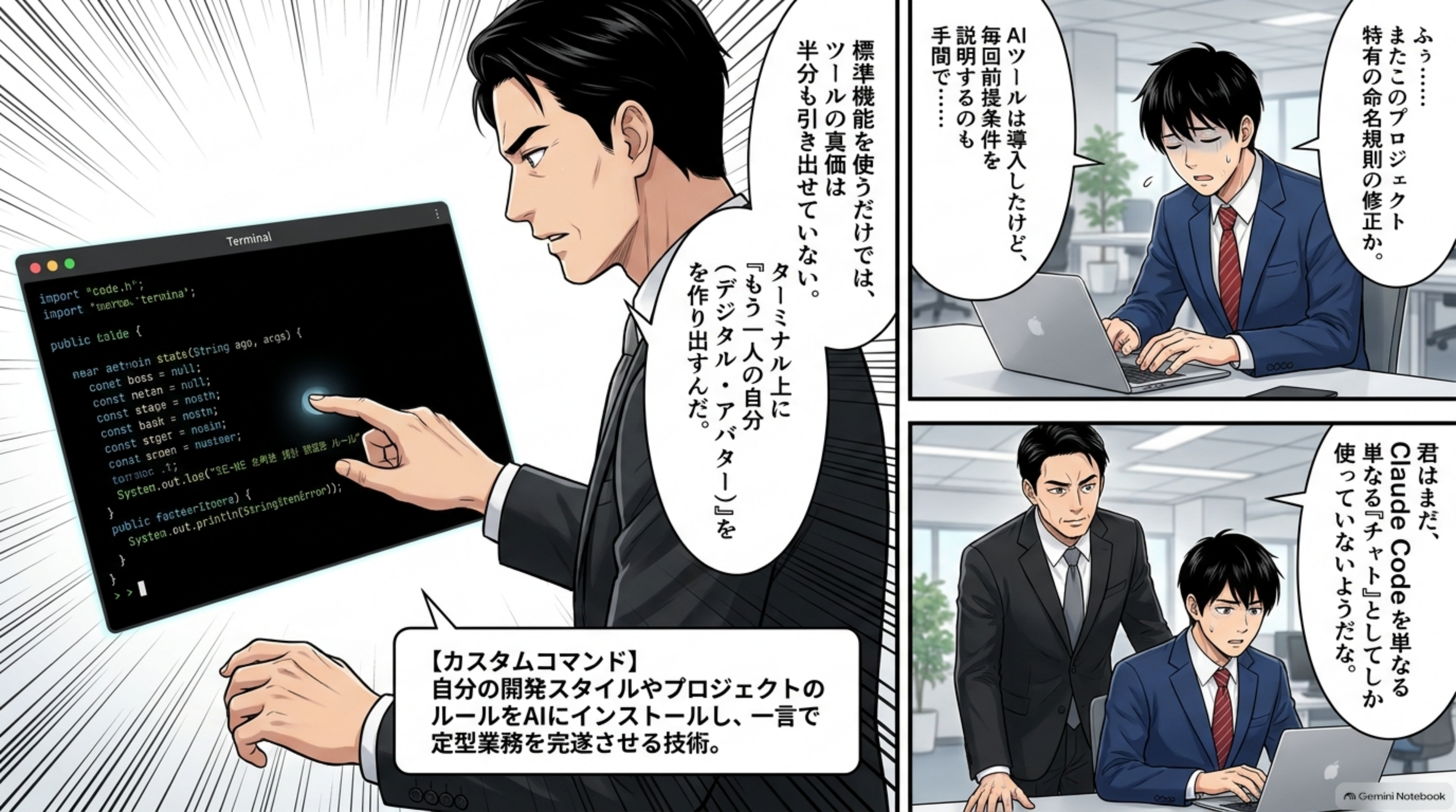
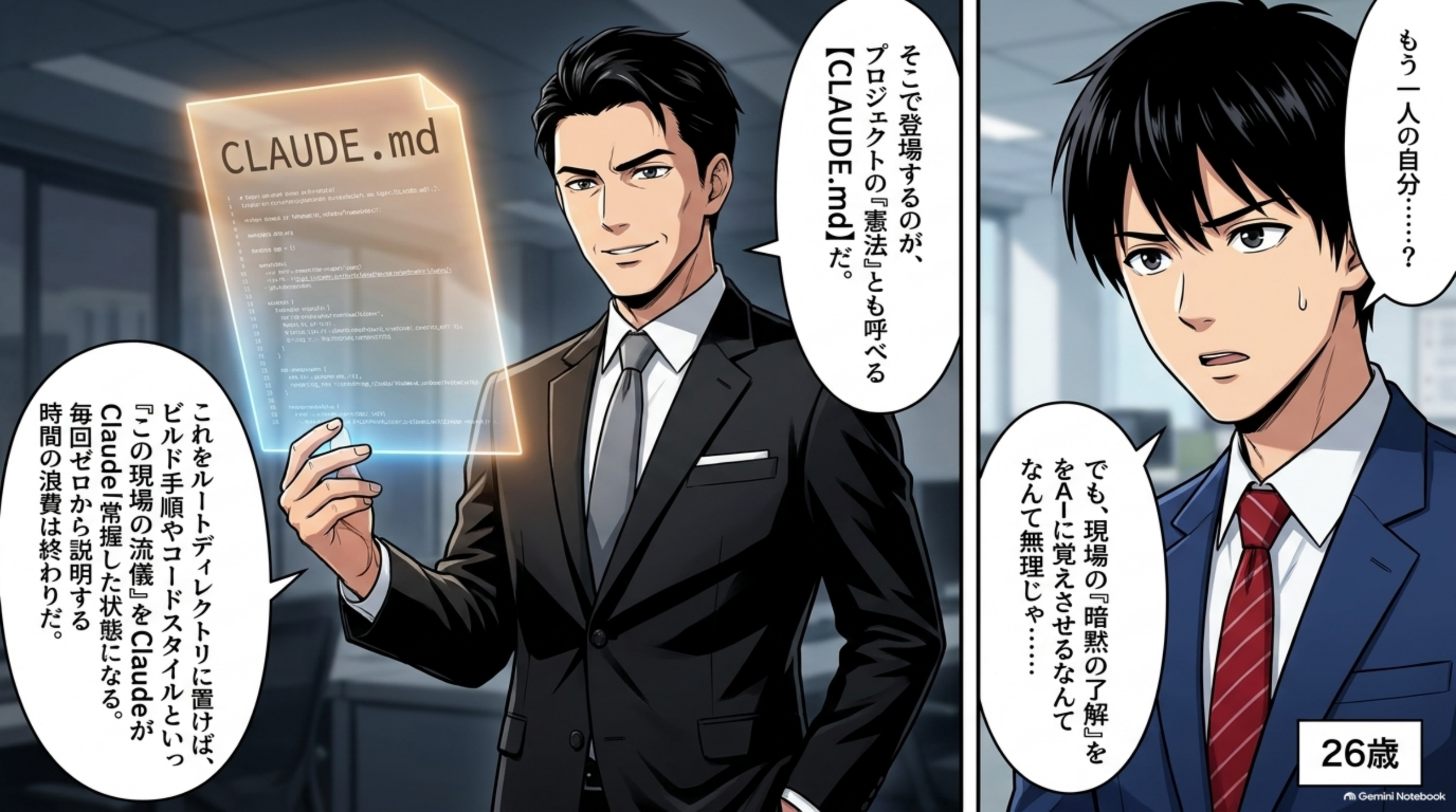
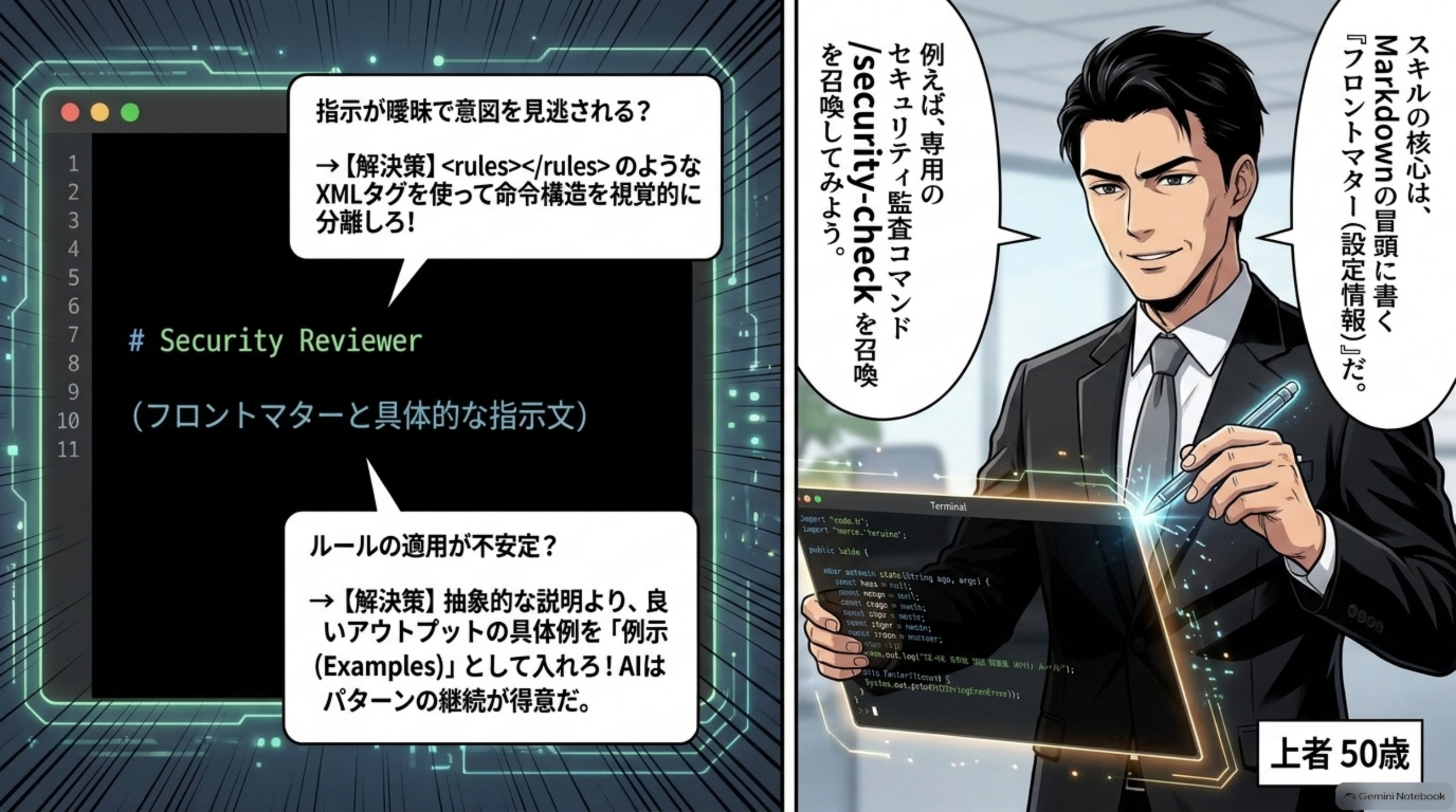
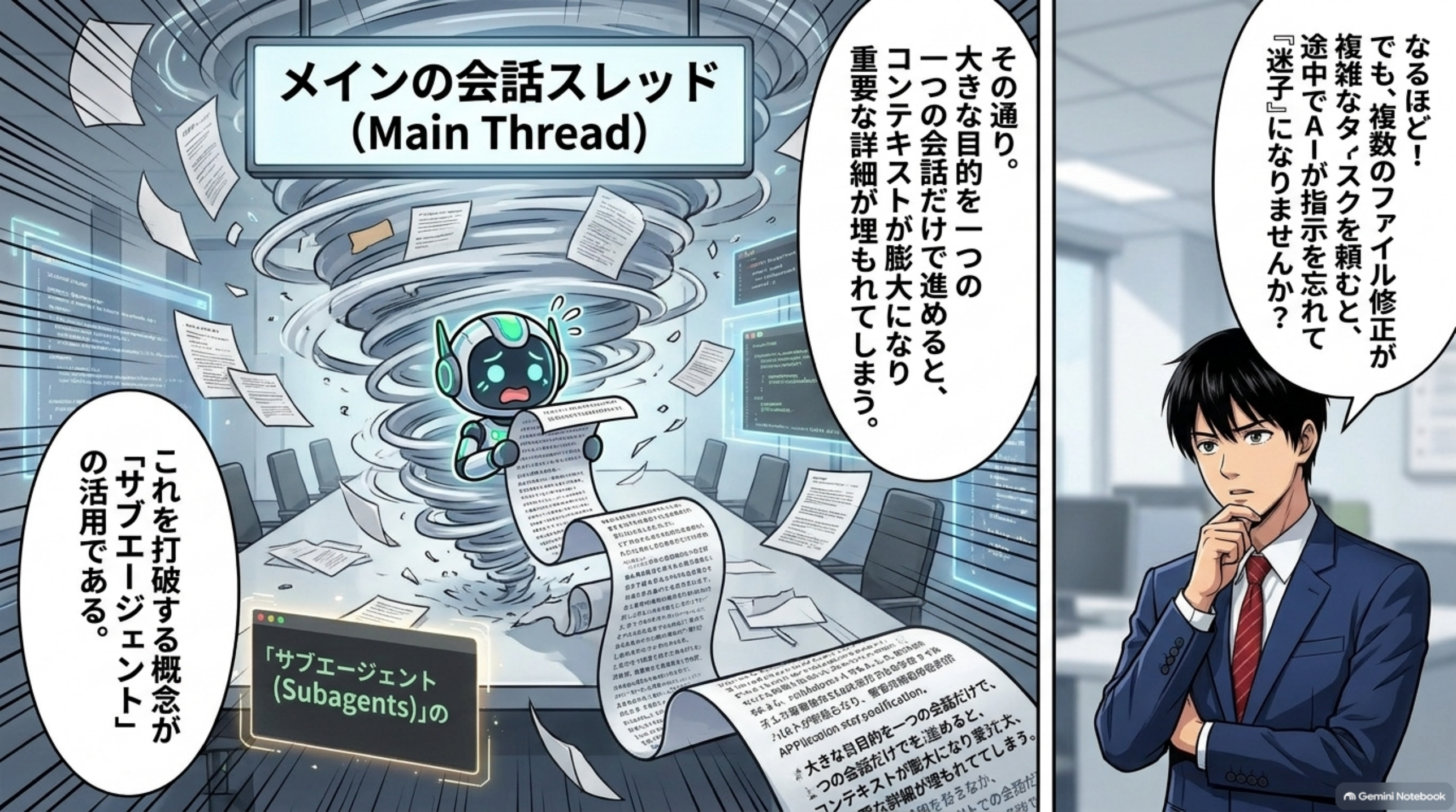
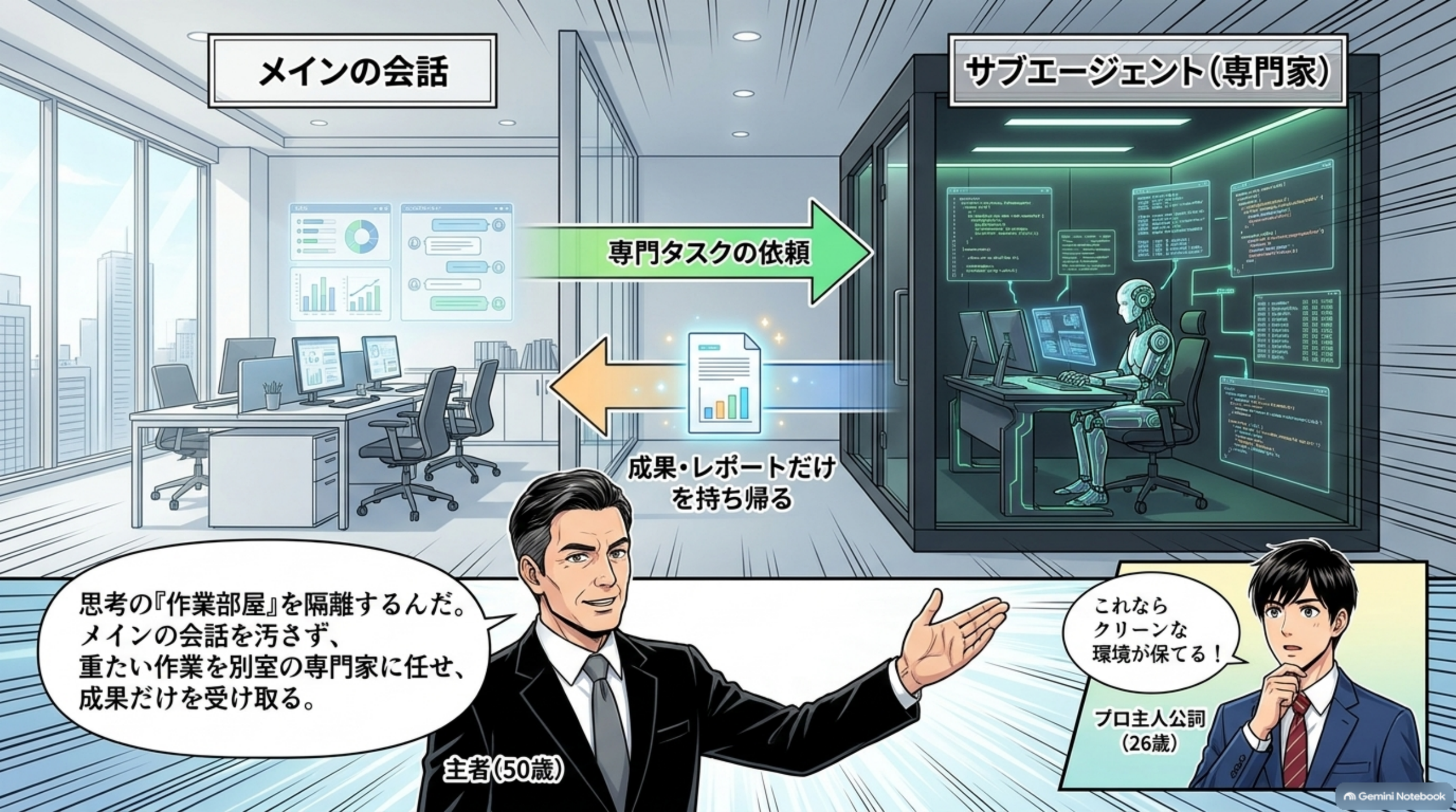

終わらないコードレビュー、
ドキュメント更新、
コミットメッセージの作成……。
その定型業務、
AIに「丸投げ」する
レシピを作りませんか？
> Claude Code カスタムコマンド作成...
Generating recipe...
function functinal_terminal() {
return true
}
自分専用の魔法を
ターミナルに！
Claude Code カスタムコマンド自作実践ガイド
Gemini Notebook


ふぅ……
またこのプロジェクト
特有の命名規則の修正か。
AIツールは導入したけど、
毎回前提条件を
説明するのも
手間で……
君はまだ、
Claude Codeを単なる
単なる『チャット』としてしか
使っていないようだな。
標準機能を使うだけでは、
ツールの真価は
半分も引き出せていない。
ターミナル上に
『もう一人の自分
（デジタル・アバター）』を
を作り出すんだ。
Terminal
【カスタムコマンド】
自分の開発スタイルやプロジェクトの
ルールをAIにインストールし、一言で
定型業務を完遂させる技術。
Gemini Notebook

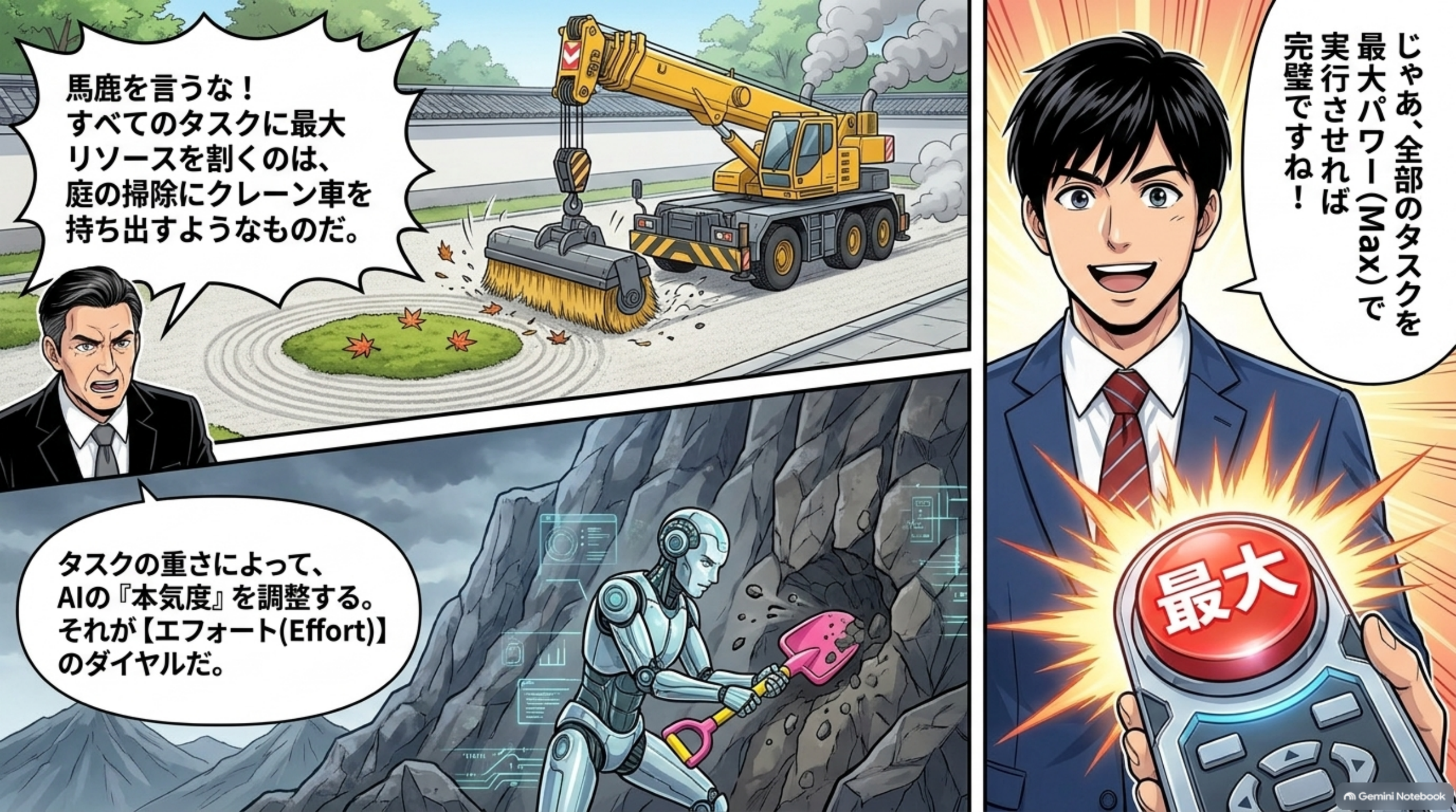

もう一人の自分……？
でも、現場の『暗黙の了解』をAIに覚えさせるなんて無理じゃ……
26歳
そこで登場するのが、プロジェクトの『憲法』とも呼べる【CLAUDE.md】だ。
CLAUDE.md
これをルートディレクトリに置けば、ビルド手順やコードスタイルといった『この現場の流儀』をClaudeが常時参照する。
毎回ゼロから説明する時間の浪費は終わりだ。
Gemini Notebook

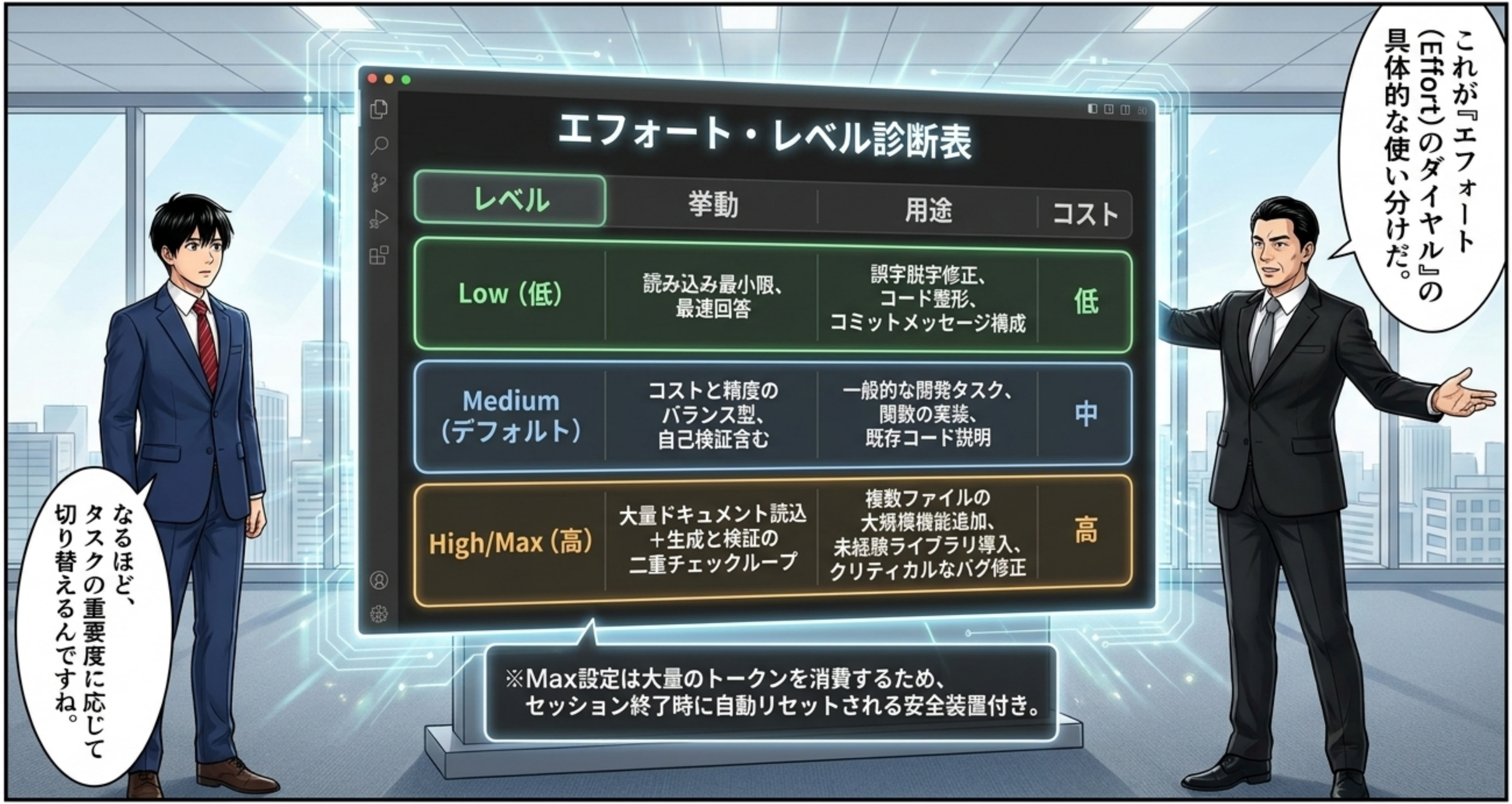

指示が曖昧で意図を見逃される？
→【解決策】<rules></rules> のようなXMLタグを使って命令構造を視覚的に分離しろ！
Security Reviewer
（フロントマターと具体的な指示文）
ルールの適用が不安定？
→【解決策】抽象的な説明より、良いアウトプットの具体例を「例示(Examples)」として入れろ！AIはパターンの継続が得意だ。
スキルの核心は、Markdownの冒頭に書く『フロントマター（設定情報）』だ。
例えば、専用のセキュリティ監査コマンド /security-check を召喚してみよう。
Terminal
上者 50歳
Gemini Notebook

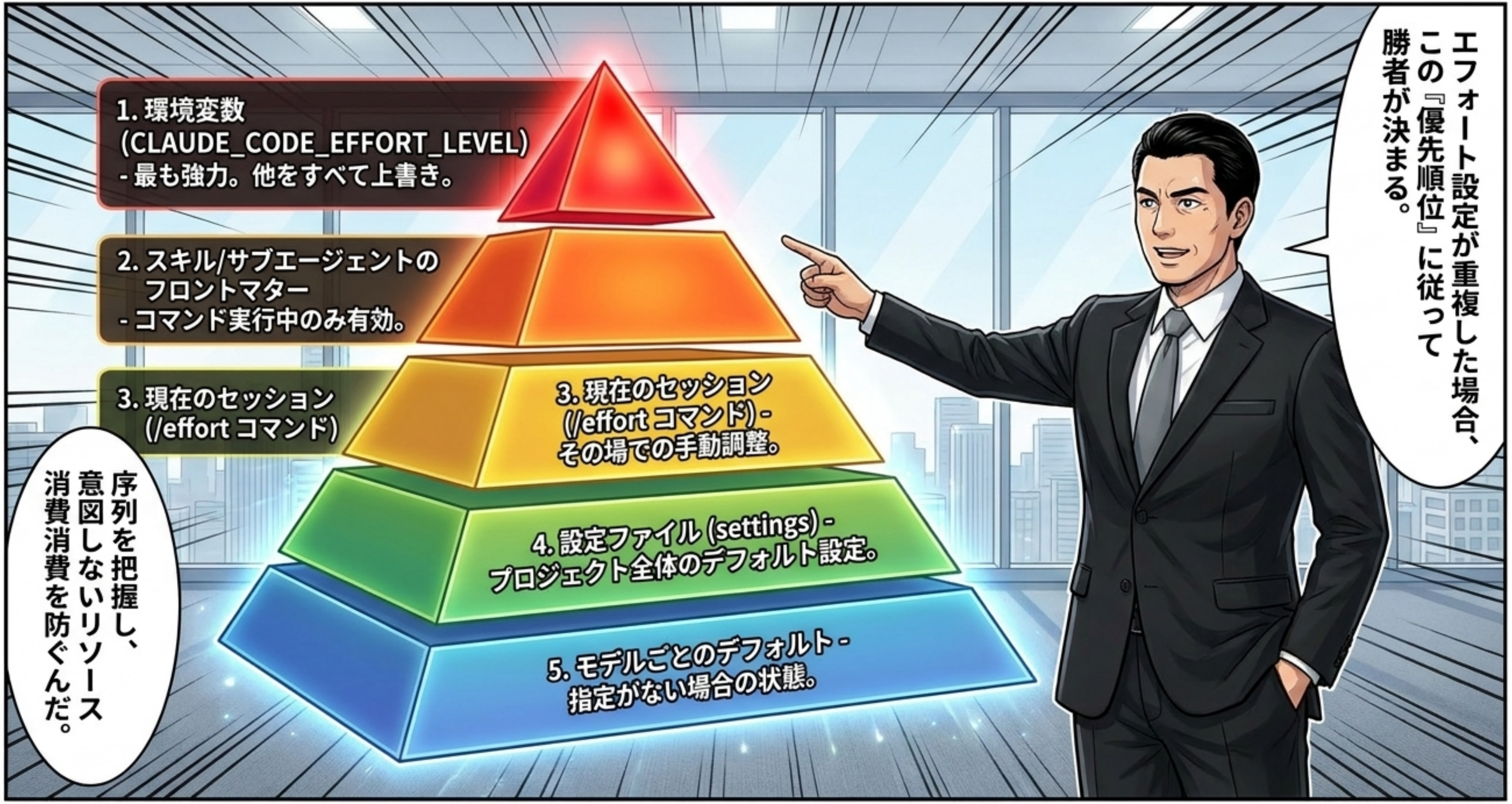

なるほど！
でも、複数のファイル修正が
複雑なタスクを頼むと、
途中でAIが指示を忘れて
『迷子』になりませんか？
その通り。
大きな目的を一つの
一つの会話だけで進めると、
コンテキストが膨大になり
重要な詳細が埋もれてしまう。
メインの会話スレッド
(Main Thread)
「サブエージェント
(Subagents)」の
これを打破する概念が
「サブエージェント」
の活用である。
Gemini Notebook

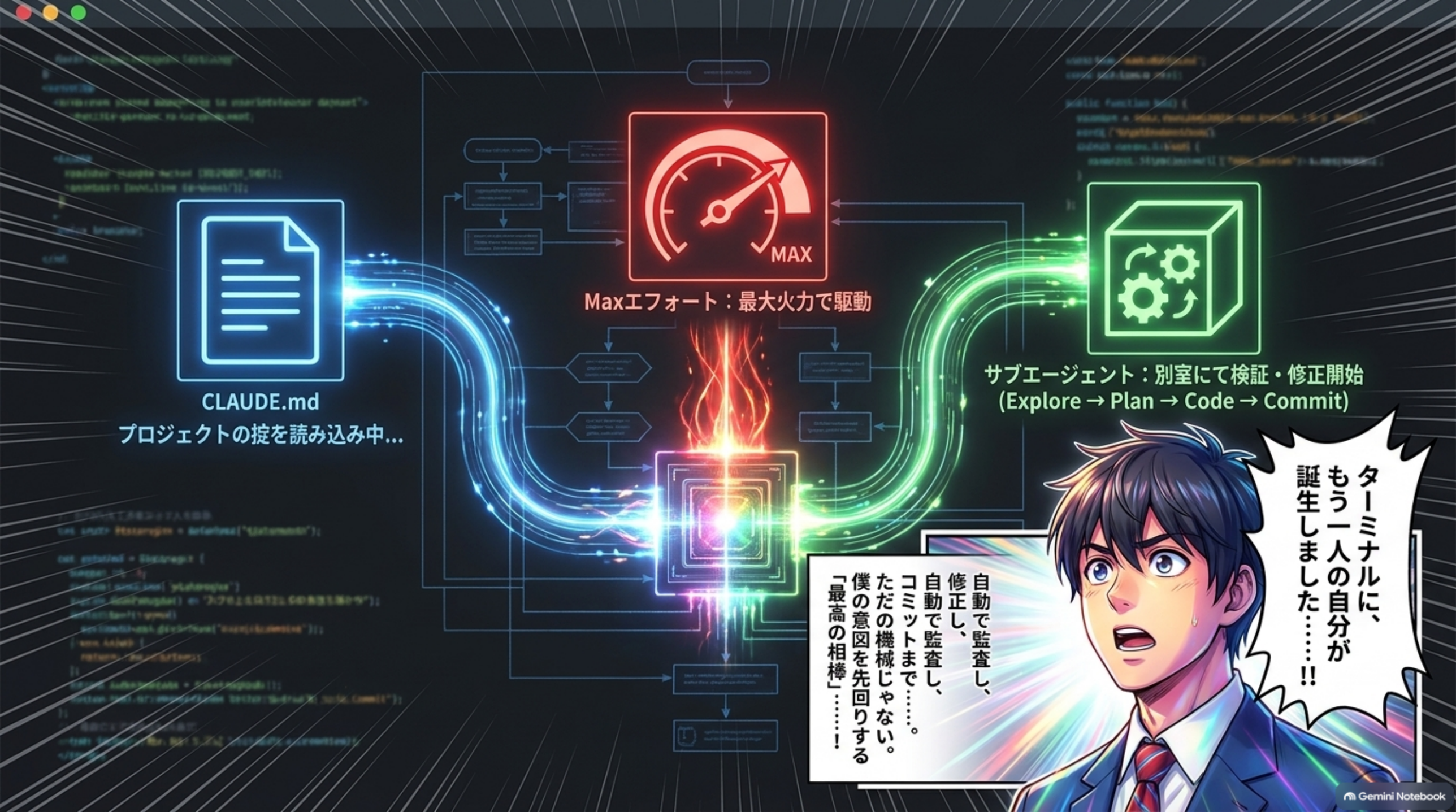

メインの会話
サブエージェント（専門家）
専門タスクの依頼
成果・レポートだけ
を持ち帰る
思考の『作業部屋』を隔離するんだ。
メインの会話を汚さず、
重たい作業を別室の専門家に任せ、
成果だけを受け取る。
主者（50歳）
これなら
クリーンな
環境が保てる！
プロ主人公詞
（26歳）
Gemini Notebook


2 Plan（計画）
– 変更の影響範囲を特定し、設計図を描く。
この4ステップの『黄金律』をサブエージェントの指示に組み込むことで、自動化の精度は劇的に向上する。
1 Explore（探索）
– 関連ファイルやドキュメントを読み、現状を把握。
2 Plan（計画）
– 変更の影響範囲を特定し、設計図を描く。
3 Code（実装）
– 実際にコードを書き、テスト検証する。
4 Commit（コミット）
– 変更内容を要約し、ログを構成。
【サブエージェント運用の注意点】
【注意1】
終わり時を見失うのを防ぐため、必ず「報告を終えたら作業を終了してください」と明示すること。
【注意2】
サブエージェントはメインの記憶を共有しない。「このファイルのこの関数を…」と材料を明示的に手渡すこと。
Gemini Notebook


じゃあ、全部のタスクを
最大パワー(Max)で
実行させれば
完璧ですね！
最大
馬鹿を言うな！
すべてのタスクに最大
リソースを割くのは、
庭の掃除にクレーン車を
持ち出すようなものだ。
タスクの重さによって、
AIの『本気度』を調整する。
それが【エフォート(Effort)】
のダイヤルだ。
Gemini Notebook






MAX
Maxエフォート：最大火力で駆動
CLAUDE.md
プロジェクトの掟を読み込み中...
サブエージェント：別室にて検証・修正開始
(Explore → Plan → Code → Commit)
ターミナルに、
もう一人の自分が
誕生しました……!!
自動で監査し、
修正し、
自動で監査し、
コミットまで……。
ただの機械じゃない。
僕の意図を先回りする
「最高の相棒」……!
Gemini Notebook

今日から始める3つのステップ

3. 鏡合わせの対話 -
/claude を起動し、「私の開発スタイルについてどう把握してる？」と尋ね、AIの認識を検証する。

2. レシピの記録 -
そのフレーズを CLAUDE.md や新規スキルとして記述する。

1. 現状の把握 -
一番頻繁にAIに頼む「お願いのフレーズ」を一つ特定する。